

令和7年度 日本企画計画学会 全国大会

National Convention
Breakthrough Thinking

参加費
無料

大会テーマ：生成 AI の可能性と EBT

開催方法 ビデオ会議システム ZOOM オンライン形式

主催：第 36 回日本企画計画学会全国大会実行委員会

〈開催日時〉
2025. 11 / 16 日 13:00~17:00

〈受付開始〉12:45~



プログラム (敬称略)

13:00~13:05	開会宣言 大会実行委員長 松永譲治
13:05~13:35	基調講演 生成 AI の可能性と EBT/会長 日比野 創 この数年で一般のユーザーに急速に普及した「生成 AI」。日常の業務や生活において便利な道具でもある「生成 AI」であるが、「企画計画」「解決策創造」「ブレイクスルー思考」「EBT」においてどのように活用することが可能であろうか。今年度の全国大会では、「生成 AI」を活用する時の「効果的な活用のしかた」「注意点」等について、参加者の皆さんと考えを深めたい。
13:35~14:00	会員発表 1 パパ・ママ創造理論における AI 活用/出口淳一 (QC サークル関東支部相談役) Gemini を使って、ママのリストアップ、構造の推定など行った事例を紹介する。Gemini への入力 (プロンプト) と出力など現状の Gemini がどれくらい人の代わりになるのかを詳しく解説する。
14:00~14:25	会員発表 2 フロネシスの誘導ベクトル導入による“価値展開 (ハイブリッド型目的展開)”の試み /伊藤彰彦 (東京支部会員) 知識科学では「経営における美德とは、共通善の実現に繋がる卓越性 (エクセレンス) の追求」であるとする。この「美德」実践の知恵が賢慮 (フロネシス) である。賢慮とは価値の判断と実現の知恵であり、アリストテレス以来、真・善・美に基づくとされる。この真・善・美の基準を誘導ベクトル化した目的展開と現行の目的展開との対照実験の結果も示し、フロネシスを発揮して“よい経営”を実現するための目的展開の応用を提起する。
14:25~14:30	休憩
14:30~14:55	会員発表 3 ものの見方と思考法/栗原弘 ((株) 弘ビジネス教育研究所 代表取締役) 「人間の身体は一年前と今では変わっている」と言われています。細胞などは常に壊しながら造っているんですね。世の中も常に変化していますから、過去の成功体験や過去の価値観を切り捨てなければなりません。目的に戻って考え、全体を見、本質を理解することが大切です。生物は変わるべき時に変わるそうですが、はたして人間は・・・?
14:55~15:20	会員発表 4 社会人基礎力教育の限界と可能性 /佐藤和美 (仙台青葉学院短期大学・パラダイムシフトコミュニケーション®認定講師) 社会人基礎力の3つの能力/12の能力要素について、テキストを用いた座学でどれほど体得できるのかについて疑問が拭えない(←先行研究から今後考察)。しかし、雇用形態・コミュニティの変化・昨今の若年者による犯罪等からは人間力、取り分け推察力を持って社会や他者と関わることの貴重さを痛感させられる。 そこで、ブレイクスルー思考を社会人基礎力教育に導入し、アクティブラーニングやフィールドワークに活かしていくことで人間力が育まれる可能性に着目し、調査研究する。
15:20~15:45	会員発表 5 工学教育における EBT とロジックモデルと AI /藤田素弘(名古屋工業大学) 本発表では、近年行政を中心に活用が進んでいるロジックモデルと EBT との対比を通して、EBT の特徴や魅力を再確認する。また、同様に急速に普及している AI にも触れて工学教育におけるロジックモデルや AI と EBT の活用についても考える。
15:45~15:50	休憩
15:50~17:00	分科会：人間 vs 生成 AI EBT で体験するチャレンジと気づき ファシリーター：寺内研二 ある課題の計画づくりを「仮想・生成 AI チーム」と「人間のチーム」で協創・ガチンコ勝負！出来の良さを競います。

下記オンデマンド講義および発表については本部および東京支部ホームページより

11月15日（土）～22日（土）の期間限定にて参加者宛パスワードにより随時閲覧可能となります。

オンデマンド講座 AIと著作権 超入門講座/尾田高美（弁理士）

生成AIを語る上で欠かせないのが「著作権」です。生成AIで何ができるのかを知るだけでなく、それをどう活用すべきか、リスクはないのかといった疑問について講義します。

オンデマンド発表1 生成AIをビジネス適用する際のマインドセット/八武崎健太郎（東京支部）

生成AIは生活の中の様々なシチュエーションで我々の助けになるツールとして欠かせなくなっている。ビジネスへの適用も急速に増加している。いま、生成AIはビジネスのどこに適用すべきなのか、生成AIがどのような業務成果に貢献できるのか、人間とのすみわけは何なのか、を我々自身が明確に持つ必要がある。そのためのマインドセットのヒントを考えたい。

オンデマンド発表2 学会誌掲載記事におけるEBT活用事例/鈴木一根（学会誌「企画計画」編集者）

今年度で第31巻を迎えた学会誌「企画計画」各号の実践体験記を中心に、EBTの活用事例について精査し、その内容を分類することから、その変遷をつまびらかにする。あわせて、今後のEBTの活用の可能性について検討を加える。

参加申込

下記リンクまたはQRコードよりエントリーをお願いします。
パスワードはjps とご記入ください。

申込締切

11月14日（金）

<https://forms.gle/UyCYM3LJNeJxefad8>

